





～笑顔ではぐくねっと～3月のスキルアップ講座より

## 「あいサポート運動」ご存じですか？

～大和市健康福祉部 障がい福祉課の方にお話をいただきました～



あいサポートバッジ

鳥取県で平成 21 年にスタート、誰もが暮らしやすい社会を目指して（共生社会）大和市では、平成 31 年 2 月 1 日に鳥取県と協定を締結し、「あいサポート運動」を始めることとなりました。さまざまな障がいの特性や障がいのある方へ必要な配慮を正しく理解するために、まず知ることからはじめよう。目的は障がいのある方に対してちょっとした手助けや配慮を実践することにより、障がいのある方が暮らしやすい地域社会（共生社会）を実現すること。あいサポートは、自分の意思で行動することを意味します。支える心をはぐくむ愛で「I」が愛情を持ってこんなマークになりました。

### サポートをする際のポイント

- \* 見た目では障がいがあるからと決めつけずそれぞれの個性や能力が生かせることを一緒に考えてみよう。
- \* 介助者がいても本人に話しかけよう。
- \* 本人の全体像を見て働きかけよう。
- \* 自分のイメージですべての障がい者を決めつけないようにしよう。



障がいについての理解は多岐にわたります。大和市作成の**あいサポート運動**

**ハンドブック（あいサポートこころ、つながる）**で詳しく研修しました。研修を受けた方のみハンドブックとバッジを頂けます。

### あいサポーター宣言

- ◆わたしたちは、多様な障がいの特性を理解し、お互いが分かり合えるように努めます。
- ◆わたしたちは、日常生活で障がいのある方が困っている場面を見かけたら、声をかけ、手助けを行います。
- ◆わたしたちは、「あいサポート」バッジを身につけ、気軽に声をかけやすい環境をつくりまします。
- ◆わたしたちは、「あいサポート」の仲間の輪を広げ、共に生きるよろこびを伝えます。



宣言をして研修は終了です。ここからがスタートです！見守りながら支えるということは、とても高度なことですが、自分の意思があれば大丈夫！

**「あいサポーターの〇〇です。何かお困りのことありますか？」**など自分に出来るサポートを！

障がいがある方に対して冷たい視線を送ったり、見て見ないふりをするのは避け、温かく接しましょう。

さあアンテナを企てて、自分発信をしよう！行動に移そう！

精神障がいの方が、薬の副作用で車イスを使うことになり外出すると「車イスを押しましようか」と声をかけてくれたそうです。その方は満足な様子で帰ってきました。でも、今までは副作用で体がよじれるように歩いていると奇妙な目を向けられ、不愉快な言葉をかけられたり、今まで挨拶をしていた方が挨拶をしなくなったり、本当に辛い思いをしてきました。視覚に車イスが入るだけで障がいが変わった形で見えてしまうのでしょうか？皆さんはどうですか？目に観えない物の理解はとても難しいです。その場で何がサポートできるのか自分自身で考え、行動に言葉（道具）に移せるとすてきですね。

何でも手助けをして感謝されるものではありません。相手がここをサポートしてほしいと言える環境があり、かゆい所に手が届くサポートを目指したい。愛サポート、Iサポート、あいサポートですね。

取材／理事長 館合みち子

イラスト / フジコ